スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

## 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

# 茨城県 茨城町


自 治 体 名 ： 茨城県東茨城郡茨城町教育委員会
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： 029-240-7121

# 1.自治体の基本情報

スポーツ庁

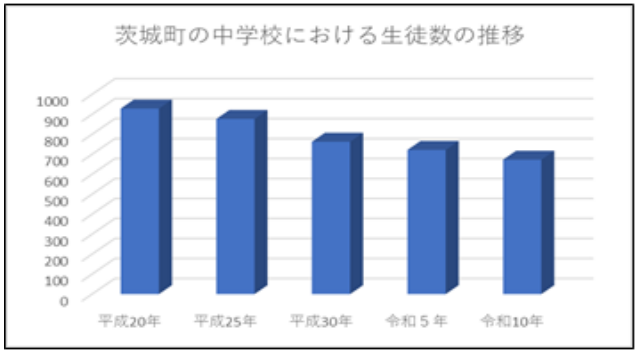
## 基本情報

| | |
|---|---|
| 面積 | 122 ㎢ |
| 人口 | 30,523 人 |
| 公立中学校数 | 2 校 |
| 公立中学校生徒数 | 668 人 |
| 部活動数 | 25 部活 |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況 | 設置済 |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 令和7年度に策定を予定 |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

部活動地域移行を推進するため、令和５年１月に「茨城町部活動地域移行検討会議」を立ち上げた。休日におけるサッカー部の活動を地域移行のモデルケースと位置付け、様々な準備を進めた結果、令和５年７月より休日の活動を地域のサッカークラブへ移行するとともに、令和６年度の新人戦より中学校単位ではなくクラブで参加することができた。また、他の部活動については、地域の企業と連携しながら、令和５年度と令和６年度に企業主催の「ソフトテニス教室」を開催した。なお、検討会議を継続的に開催しながら、将来的に「拠点校型」の部活動地域展開を目指していくことが決定した。本町が「拠点校型」の部活動地域展開を目指した大きな理由としては、ここ近年における生徒数の減少（令和５年度：722人　令和10年度予定：673人　令和15年度予定：513人）に対応していかなければならないことと、町内の公立中学校が2校のみなので連携がしやすいということが挙げられる。従来は、部員が維持できずに生徒たちが希望する部活動を廃部や休部にしたケースがあった。持続可能な状態で今後も提供していくことこそが、生涯を通して多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむ素地を作ることにつながると考えた。

課題としては、「拠点校型」の地域展開における開始時期や具体的な進め方が未定であること、地域クラブの立ち上げや地域クラブを運営する任意団体の設立、指導者となり得る地域人材の発掘などが挙げられる。男子バスケットボールや剣道など、既に単独でチームを編成することが困難な部活動もあり、町内や近隣の中学校と拠点校チームを編成して大会へ参加をしている現状なので、「地域の子供は地域で育てる」という理念の実現に向け、部活動の地域展開を持続可能にする取組を加速させたい。



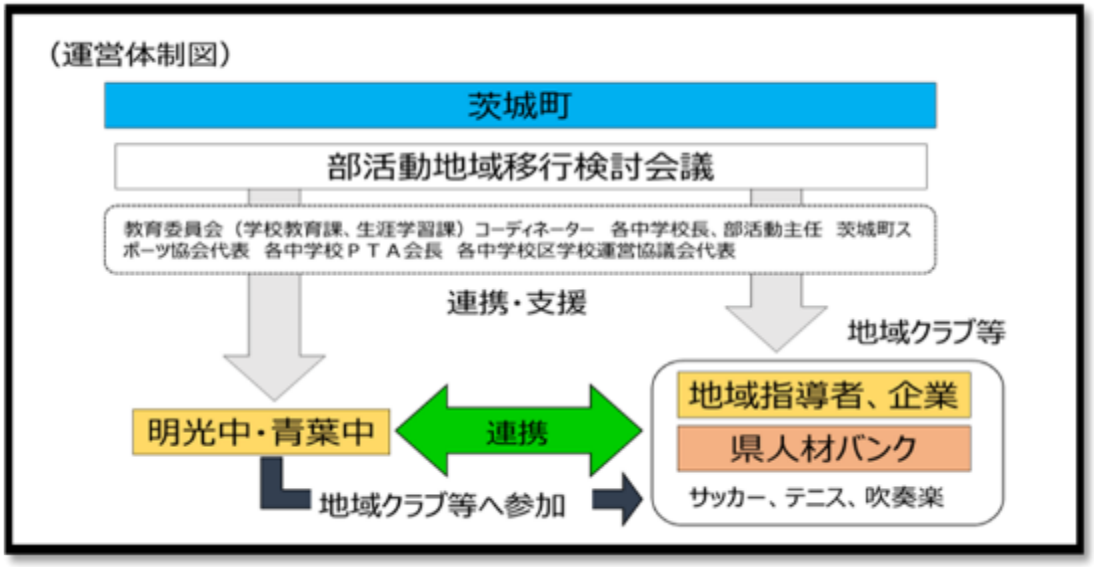

※茨城町住民基本台帳に基づいて独自作成

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）




### ●行政組織内での役割分担

**◉教育委員会**

- ・部活動地域展開検討会議の開催
- ・地域人材との連携
- ・人材バンクの管理
- ・学校と地域クラブとの連携強化
- ・町公共施設の利用に伴う調整

**◉首長部局**

- ・地域クラブの運営を担う任意団体設立に向けた財源確保の調整
- ・受益者負担システム及び指導者への謝金支払システム構築に向けた調整
- ・部活動の地域展開に関する地域への広報活動

## 年間の事業スケジュール

| 期日 | 内容 |
|---|---|
| 令和６年４月 | ・地域クラブにおける保護者説明会<br>・茨城県中体連への登録申請（ｻｯｶｰ） |
| 令和６年５月 | ・コーディネーターとの打合せ |
| 令和６年６月 | ・第１回茨城町部活動地域移行検討会議 |
| 令和６年７月 | ・コーディネーターとの打合せ<br>・茨城県中体連への追加登録申請（ｻｯｶｰ）<br>・企業と連携したソフトテニス教室① |
| 令和６年８月 | ・部活動地域移行実務者会議① |
| 令和６年９月 | ・部活動地域移行先進地域視察（土浦市）<br>・コーディネーターとの打合せ<br>・企業と連携したソフトテニス教室② |
| 令和６年10月 | ・第２回茨城町部活動地域移行検討会議<br>・企業と連携したソフトテニス教室③ |
| 令和６年11月 | ・部活動地域移行先進地域視察（神栖市）<br>・部活動地域移行実務者会議②<br>・企業と連携したソフトテニス教室④ |
| 令和６年12月 | ・コーディネーターとの打合せ<br>・企業と連携したソフトテニス教室⑤ |
| 令和７年１月 | ・第３回茨城町部活動地域移行検討会議 |
| 令和７年２月 | ・コーディネーターとの打合せ |
| 令和７年３月 | ・第４回茨城町部活動地域移行検討会議 |

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域スポーツクラブ活動の運営実績

### ①全体に関すること

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中学校数 | 2 校 | 実施した地域クラブ総数 | 2 クラブ |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数） | | 2 クラブ（３部活） |
| | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） | | 0 クラブ |
| 全体の指導者数 | サッカー14人、ソフトテニス平均５人/回 | 全体の運営スタッフ数 | サッカー２人、ソフトテニス３人 |

### ②各クラブに関すること

| クラブ名 | 運営団体種別 | 種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数 | 実施時間帯 | 参加者（学年別） | 実施期間 | 活動場所 | 指導者数 | 運営スタッフ数（他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 茨城町FCジュニアユース | 地域のクラブチーム | サッカー | 月８回程度 | 午前または午後の３時間 | 1年生部員<br>2年生部員<br>3年生部員 | ４月から３月まで | 町運動公園及び町内両中学校 | 14人 | ２人 | 年会費12,000円 | 地域クラブ |
| トヨタモビリティーパーツソフトテニス教室 | 企業 | ソフトテニス | 月１回程度 | 午前または午後の３時間 | 1年生部員<br>2年生部員 | 7月から12月まで | 町運動公園 | 平均５人/回 | ３人 | 無料 | 部活動 |

### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

●ソフトテニス教室の最終回（12月７日に実施した第５回）では、「テニスフェス」と称したミニ大会を開催した。

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

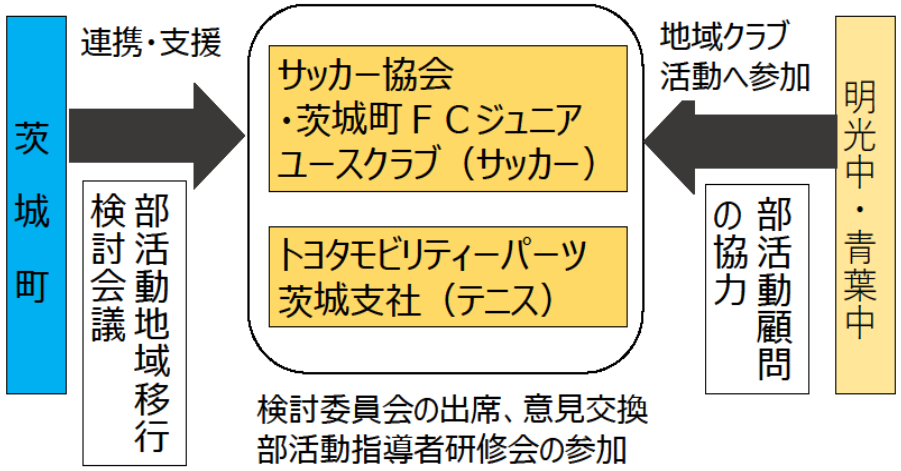
## 主な取組例

### ●茨城町地域クラブ　活動概要

| | |
|---|---|
| 地域クラブ活動で実施した種目 | サッカー<br>ソフトテニス |
| 運営団体名 | サッカー：茨城町FCジュニアユース<br>ソフトテニス：(株)トヨタモビリティーパーツ<br>茨城支社 |
| 期間と日数 | サッカー：４月から３月まで月８回程度<br>ソフトテニス：７月から12月まで月1回程度 |
| 指導者の主な属性 | サッカー：サッカー少年団の指導者<br>ソフトテニス：テニス経験のある社員 |
| 活動場所 | サッカー：町運動公園及び町内両中学校<br>ソフトテニス：町運動公園 |
| 主な移動手段 | 自転車及び徒歩、保護者による送迎 |
| １人あたりの参加会費等（年額） | サッカー：年会費12,000円<br>ソフトテニス：無料 |
| １人あたりの保険料 | 800円/年 |

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

（運営体制図）




### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者　１名

役割：コーディネーター及び両中学校顧問を活動日時の調整を行う。

●主任指導者　３名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者

役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

# 2.実証内容と成果



## 取組内容

### ●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**取組事項**

○「茨城町部活動地域移行検討会議」を定期的に開催して、部活動地域移行に関する様々な課題を継続的に協議する。
○サッカークラブの代表者を検討会議の委員に委嘱し、クラブ運営に伴う現状と課題を把握する。
○部活動地域移行の先進地域を視察して、地域クラブの設立に至る経緯や地域クラブの運営に係る課題を聞き取る。

**取組の成果**

○「茨城町部活動地域移行検討会議」では、予算の獲得や指導者の確保が難しいことなど、本町における地域移行の諸課題について継続的に協議しながら、検討委員の皆様と連携することができた。

○町内両中学校のPTA会長と学校運営協議会代表を検討会議のメンバーに位置付けたことで、家庭や地域の声を拾い上げることができた。

○サッカークラブの代表者を検討会議の委員に委嘱したことで、クラブ内における資金のやりくりや大会に参加するための移動手段など様々な課題を検討会議で適宜共有することができた。

○９月に土浦市教育委員会、11月に神栖市教育委員会を視察したことで、地域クラブの設立に至る経緯や苦労、地域クラブの運営に係る資金面や人材確保の苦労など、今後の本町における地域クラブの運営を担う任意団体の設立に係る諸準備に活かすことができた。

**コーディネーターの具体的な動きの実績**

○支援コーディネーター
・部活動地域移行検討会議への参加
・部活動地域移行先進地域の視察に同行
・町教育委員会統括責任者との定期的な打合せ

**今後の課題と対応方針**

・令和８年度からの本格運用を目指し、地域クラブの運営を担う任意団体における人材など体制を整備する。
・コーディネート業務を担う人材の発掘・育成、資質向上を図る方策の検討を行う。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

**取組事項**

○町独自の人材バンクを立ち上げる計画であったが、地域クラブの運営を担う任意団体設立に係る資金や指導者への謝金といった財源を確保することができなかったため、町独自の人材バンクを立ち上げることができなかった。そのため、町主催の指導者講習会も開催できなかった。

**人材バンクの人数**

0名

**人材バンクの年齢構成**

| | |
|---|---|
| 10代 | 0名 |
| 20代 | 0名 |
| 30代 | 0名 |
| 40代 | 0名 |
| 50代 | 0名 |
| 60代以上 | 0名 |

**登録者属性**

・人材バンクを立ち上げられなかったので、記載事項なし

**種目**

・人材バンクを立ち上げられなかったので、記載事項なし

**資格有無**

・人材バンクを立ち上げられなかったので、記載事項なし

**取組の成果**

・アプリ等を活用したことにより、平日と休日の練習内容や生徒たちの取組状況などを共有するなど、平日と休日の指導者間で連携を深めることができた。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
**ウ：関係団体・分野との連携強化**
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化**

### 取組事項

○町スポーツ推進委員との連携を図る。

○地域移行したサッカークラブが中体連の大会に参加する際、両中学校が民間のバスを手配するなどして移動手段を確保する。

### 取組の成果

○町スポーツ推進委員長を、部活動地域移行検討会議の委員に委嘱したことで、今後の連携を視野に入れた人材を紹介していただけた。

○中体連主催の新人体育大会では、バスに同乗して会場へ引率することや現地での安全看護を顧問が務め、試合中の指導や審判などの役員をクラブ指導者が務めるなど、役割分担を明確にして円滑に連携することができた。

### バス等の運行実績

・日数　　計　19日
・利用者数　計　48人
・運行経路
　両中学校　⇔　大会会場
　※大会：支部大会・地区大会・県大会

### バス等の運航経費・収入

・人件費
　0円
・利用料
　計　1,091,510円

### 今後の課題と対応方針

○次年度以降も町スポーツ推進委員長を部活動地域移行検討会議の委員に委嘱することで、幅広い種目の指導者となり得る人材を発掘していく。
○将来的な「拠点校型」の部活動地域展開を目指し、今後は両中学校における全ての運動部による合同練習会を定期開催する。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
**オ：内容の充実**
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　オ：内容の充実①**

**取組事項**

・生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツに親しむ機会の確保に取り組む。

**活動の詳細**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 参加人数 | サッカー　48人<br>ソフトテニス　平均約40人/回 | 指導者数 | サッカー　14人<br>ソフトテニス　平均５人/回 |
| 属性 | サッカー：地域のサッカークラブ　ソフトテニス：企業との連携 | | |
| 具体的な内容 | サッカー<br>・トップチームへの指導を重点化するのではなく各チームに応じた指導と実戦機会を確保する。<br>ソフトテニス<br>・テニス教室では「上級クラス」と「初級クラス」を各自が選択して受講できるようにする。 | | |
| 子供の声 | ● サッカー<br>・県でベスト8に慣れて嬉しかった。<br>● ソフトテニス<br>・テニス教室が毎回楽しみだった。 | | |
| 関係者の声 | ● サッカー<br>・大会で好成績を収めたことだけでなく、選手や保護者から不満の声が挙がっていないのが指導者として嬉しい。<br>● ソフトテニス<br>・「テニスフェス」では、新入社員を中心に運営したことで、自ら考えて動くことの大切さを実感した。また、　生徒との交流を通じて、人に楽しんでいただく喜びも実感した。 | | |
| 運営経費 | ０円 | | |

5　成果・課題

（成果）

・生徒たちが積極的に審判など試合運営に参加し、自主性を促すことが出来た
・生徒たちにフェスを楽しんでいただくことを意識することで臨機応変に的当ての設営や運営、景品の対応を行うことが出来た

（課題）

・生徒に審判を行ってもらう際のスコア票が無く、書き方がバラバラになってしまい、集計の遅延、ミスが発生してしまった
・生徒向けの情報伝達不足があった為、しおりやポスターを作成する
・リーグ票の見方が確立されておらず、確認する人によって見方が変わってしまい、記入ミスがあった
・ペアが組めなかった生徒と大人が組んでしまった為、他チームとの実力差が生まれてしまった。公平に行う為試合の重ならない他ペアから人を借りて生徒だけでの試合を確立する



（参加者との集合写真）

出典：(株)トヨタモビリティーパーツ茨城支作成「テニスフェスレポート」

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
**オ：内容の充実**
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

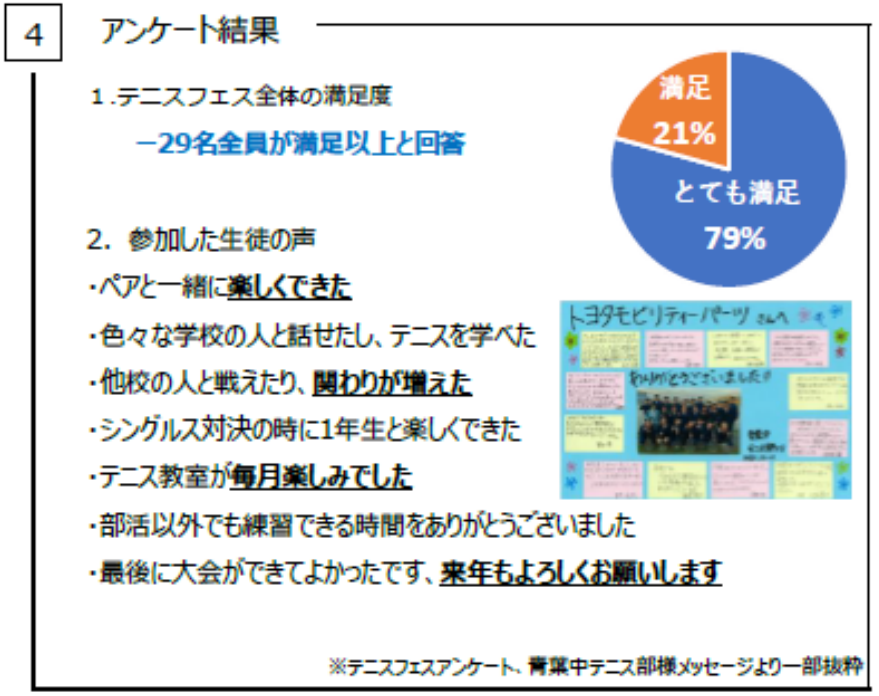
**●取組項目名　オ：内容の充実②**

### 取組の成果

○茨城町FCジュニアユースとして参加した新人体育大会では、支部大会（東茨城郡新人体育大会）と地区大会（中央地区新人体育大会）で優勝、県大会でベスト8という好成績を収めた。

○ソフトテニス教室の最終回に実施した「テニスフェス」に参加した中学生29人を対象としたアンケートの結果、回答者の100%が「満足以上」と回答するなど満足度が非常に高いイベントになった。

○休日に開催したソフトテニス教室には、部活動顧問はほとんど参加しなかったため、働き方改革に寄与することができた。




出典：(株)トヨタモビリティーパーツ茨城支作成「テニスフェスレポート」

### 今後の課題と対応方針

・ソフトテニス教室の実施回数を増やすことで、休日における顧問の活動時間を減らしていく。

・サッカー以外の運動部活動は地域移行が進んでいない状態なので、地域クラブ化を早期に実現させる。

・将来的な「拠点校型」の部活動地域展開を目指し、今後も両中学校の運動部による合同練習会を定期的に開催していく。そのためには、地域クラブの運営を担う任意団体の立ち上げなど地域クラブ設立に向けた準備を、町教育委員会や首長部局が連携して進めることが必須となる。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
**キ：学校施設の活用等**
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　キ：学校施設の活用等**

### 取組事項

○地域クラブ活動を実施する際の利用ルールを策定することを計画していたが、サッカー及びソフトテニスは町運動公園を使用したので利用ルールを策定する必要がなかった。

### 取組の成果

○町の運動施設等を管理する町教育委員会生涯学習課と連携したことで、利用申請や減免措置を円滑に進めることができた。

### 今後の課題と対応方針

○町運動公園は定期的に芝生を養生することが必要となり、その期間は両中学校のグラウンドを使用している。そのため、他の部活動との調整や備品の使用等に関するルールを明確に決めていきたい。

# 2.実証内容と成果①

スポーツ庁

## 総括・成果の評価・今後に向けて

### ●総括

○実証事業２年目の取組を振り返ると、昨年度から前進したのが、休日の活動を移行したサッカーのクラブが中体連主催の新人体育大会に参加を果たしたことと、企業と連携したソフトテニス教室の最終回で「テニスフェス」と称したミニ大会を初めて実施したことである。しかし、サッカー以外の運動部活動は依然として地域移行が進んでいない状態である。

○９月に土浦市教育委員会、11月に神栖市教育委員会を視察したことで、地域クラブの設立に至る経緯や苦労、地域クラブの運営に係る資金面や人材確保の苦労など、今後の本町における地域クラブの運営を担う任意団体の設立に係る諸準備に活かすことができた。

### ●成果の評価

○茨城町FCジュニアユースとして参加した新人体育大会では、支部大会（東茨城郡新人体育大会）と地区大会（中央地区新人体育大会）で優勝、県大会でベスト8という好成績を収めた。これまでは中学校単位で参加していたので、試合への出場機会は減少してしまったが、トップチームを全力で応援する姿が見られたと、顧問やクラブ代表から報告を受けた。これは、クラブと両中学校との連携や、クラブ内で各チームに応じた練習メニューを設定したり、実戦の機会を確保したりするなどの取組によるもので、部活動地域移行に伴う新たな成果と考えている。

○ソフトテニス教室の最終回（12月7日）に実施した「テニスフェス」に参加した中学生29人を対象としたアンケートの結果、回答者の100%が「満足以上」と回答するなど、満足度が非常に高いイベントになった。また、毎月のソフトテニス教室を楽しみにしている声も寄せられており、参加した中学生にとってソフトテニス教室が毎回、質の高い内容を提供していたといえる。

○休日に開催したソフトテニス教室には、部活動顧問はほとんど参加しなかったため、働き方改革に寄与することができた。

### ●今後に向けて

○将来的な「拠点校型」の部活動地域展開を目指し、今後は両中学校の運動部による合同練習会を定期的に開催していく。そのためには、地域クラブの運営を担う任意団体の立ち上げなど地域クラブ設立に向けた準備を、町教育委員会や首長部局が連携して進めることが必須となる。

○部活動地域移行先進地域を視察して得ることができた成果を活かし、本町の地域クラブ化に向けた方向性を検討会議で明確に示していきたい。

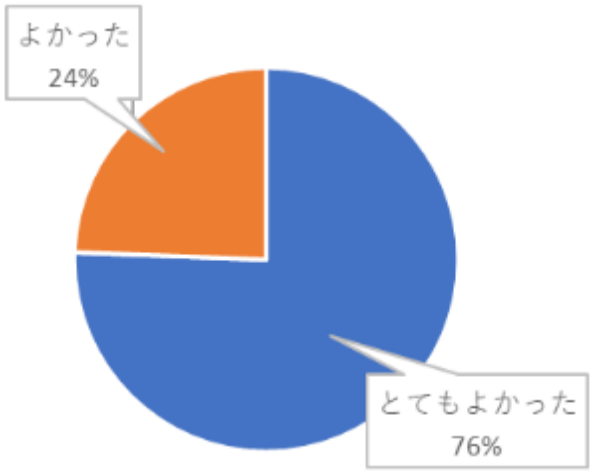
# 2.実証内容と成果②

スポーツ庁

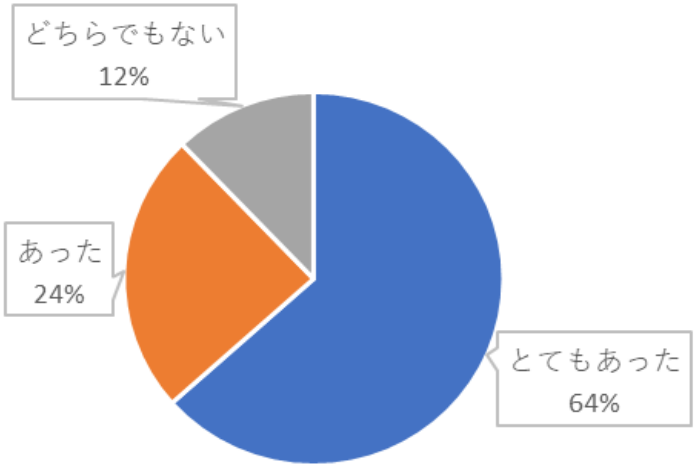
## アンケート結果・参加者の声

### ●ソフトテニス教室に参加した中学生を対象に行ったアンケート結果

Q.テニス教室はどうだったか？




Q.テニス教室で何か学びはあったか？




### ●参加者の声

**中学１年生（ソフトテニス教室）**

・バックが苦手で、学校でも迷っていたけど、できない理由が分かって、バックができるようになった。
・3種類(ロブ、チャンスボール、クロス)の打ち方を使い分けながら打つことができた。

**中学２年生 （ソフトテニス教室）**

・サーブを打ってからレシーブが返ってきたときに、どっちに打てば良いのかわかったのでとてもよかった。
・実戦で使えそうな練習をすることができてとてもよかった。

**指導者（ソフトテニス教室）**

・「テニスフェス」では、新入社員を中心に運営したことで、自ら考えて動くことの大切さを実感した。
・生徒との交流を通じて、人に楽しんでいただく喜びも実感することができた。

**指導者（茨城町FCジュニアユース）**

・大会で好成績を収めたことだけでなく、選手や保護者から不満の声が挙がっていないのが指導者として嬉しい。
・試合に出ているメンバーを、クラブ全体で応援する姿が見られ、地域移行の受け皿としてこれまでやってきてよかったと思った。

# 2.実証内容と成果③

スポーツ庁

## アンケート結果・広報資料

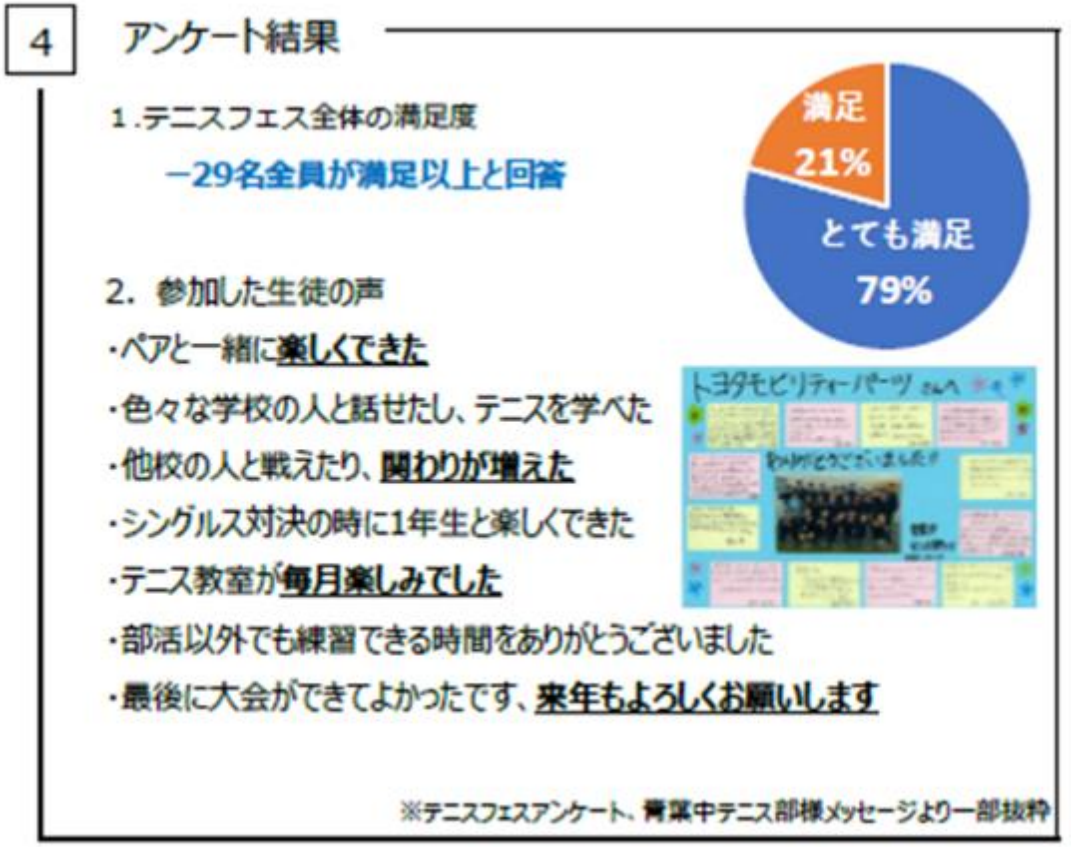
○企業（株式会社トヨタモビリティーパーツ茨城支社）と連携したソフトテニス教室では、毎回、両中学校の生徒向けに、チラシを作成してくださった。送迎に来た一部の保護者も見学するなど、関心が高まっていたようだった。




【生徒への参加啓発チラシ】

出典：(株)トヨタモビリティーパーツ茨城支社作成「テニスフェス」の周知チラシ

○ソフトテニス教室の最終回に実施した「テニスフェス」に参加した中学生29人を対象としたアンケートの結果、回答者の100%が「満足以上」と回答するなど満足度が非常に高いイベントになった。




【アンケート結果】

出典：(株)トヨタモビリティーパーツ茨城支社作成「テニスフェスレポート」

# 2.実証内容と成果④

スポーツ庁

## 参考資料（活動写真）



【企業と連携したソフトテニス教室における開会行事の様子】



【中央地区新人体育大会で優勝した茨城町FCジュニアユース】



【企業と連携したソフトテニス教室における初級コースの様子】



【テニスフェスにおける表彰式の様子】

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

**令和５年**
- ●部活動地域移行検討会議の立ち上げ
  - ・町内両中学校
  - ・町内両中学校の学校運営協議会
- ●保護者や地域住民への周知
  - ・部活動活動方針の改定

**令和５年**
**協議会設置、検討開始**

**令和５年**
**活動方針策定、指導者の選定**

- ●町部活動活動方針の改定について
  - ・各中学校との意見交換
  - ・部活動地域移行検討会議での検討
  - ・町部活動活動方針の改定
- ●指導者の選定
  - ・茨城県人材バンク登録者より
  - ・候補者と面接を実施して決定

- ●部活動地域移行の説明について
  - ・学校運営協議会
  - ・各中学校保護者説明会
  - ・町内小学６年生保護者会
  - ・町内小学６年生対象説明会

**令和６年**
**学校現場との調整、生徒、保護者への説明**

**令和６年**
**合同練習に向けた諸準備**

**令和６年**
- ●中体連主催の新人体育大会にクラブで参加
- ●企業と連携したソフトテニス教室の継続開催
  - ・最終回となった第５回（12月7日）に「テニスフェス」と称したミニ大会を実施
- ●両中学校の合同練習を１回実施（２月）
  - ・女子バスケットボール部
  - ・女子ソフトテニス部

**令和７年**
- ●地域クラブの運営を担う任意団体の設立
  - ・目標は「拠点校型」の地域展開
  - ・運営スタッフの人選
  - ・町人材バンクの立ち上げ
  - ・兼職兼業による指導者の募集
  - ・受益者負担額の検討

**令和７年**
**地域クラブの運営を担う任意団体の設立**

**令和８年**
**地域クラブ活動の開始**

**令和８年**
- ●地域クラブ活動の開始
  - ・「拠点校型」の地域展開を推進
  - ・休日における合同練習の常態化
  - ・受益者負担を基にした運営

# 3.今後の方向性

スポーツ庁

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

